



日本分類学会連合のトピックス

第 21 回日本分類学会連合公開シンポジウム

日本分類学会連合第 21 回公開シンポジウム「共生一 種を超えたつながり」が以下の要領で開催されます。

- 主催** 日本分類学会連合
- 共催** 国立科学博物館
- 後援** 日本共生生物学会
- 日時** 2022 年 1 月 8 日 (土) 13:30~15:40
- 会場** オンライン開催(事前申込制)
- 対象** 一般の方(中学生以上)および研究者、大学生・大学院生
- 定員** 300 名 ※先着順 1 月 5 日 (水) 締切
- 参加費** 無料

本シンポジウムはおもに一般の方を対象とした公開シンポジウムです。研究者のみならず、生物や科学にご興味のある方ならどなたでもご参加いただけます。ご参加にあたっては、以下の点にご注意ください。

- 1) シンポジウムへの参加には事前申込が必要です。参加をご希望の方は、事前に下記 URL より参加登録をお願いいたします。  
<https://forms.gle/U9tU5GNSqiykmt29>
- 2) 本シンポジウムは「Zoom」を使用して行われます。事前に必要な環境をご確認ください。
- 3) ご不明な点はメールにて [ujssbsympo@gmail.com](mailto:ujssbsympo@gmail.com) までお問い合わせください。

開催趣旨

分類学はさまざまな生物の認識や命名、体系化を目的の一つに発展してきた学問分野です。そのため、分類学は生物学の基盤としてさまざまな学問分野をつなぐ役割を果たしてきました。今年で設立 20 周年を迎える日本分類学会連合は、分類群間の垣根を越え、大規模な生物多様性研究を可能にする分類学者の統合組織を目指して設立されました。現在は、動物や植物から原生生物に至るまで、さまざまな分類群を専門とする 25 学会が加盟する団体として、全生物を対象にした生物多様性の研究および教育を強力に推進しています。第 21 回を迎える今回のシンポジウムでは、分類群間の垣根を超えた研究の象徴として、さまざまな生物について「共生及び寄生などの生物間相互作用」をテーマに取り組む研究者の皆様をお招きし、それぞれのご研究内容について、時間の許す限りお話をいただきたい

と思います。本シンポジウムが、生物の分類、そしてそこから始まる生物多様性研究など、さまざまな研究に関心を持つきっかけとなればと思います。

塚越 哲 (静岡大学)

プログラム

- 13:30~13:40 開会あいさつ・趣旨説明
- 13:40~14:00 キノコを食べる植物：ラン科植物の菌従属栄養性とその多様性  
辻田有紀：佐賀大学
- 14:00~14:20 サンゴと藻類の共生：パートナーで運命が変わる  
高橋俊一：琉球大学
- 14:20~14:40 葉緑体ドロボウは共生のはじまり？ - 盗葉緑体現象から紐解く細胞内共生の進化  
大沼亮：神戸大学
- 14:40~14:45 休憩
- 14:45~15:05 寄生生物ハリガネムシ類による宿主操作の仕組みと生態系における知られざる役割  
佐藤拓哉：京都大学
- 15:05~15:25 腸内細菌叢がもたらす宿主恒常性と疾患  
福田真嗣：慶応義塾大学
- 15:25~15:35 総合討論
- 15:35~15:40 閉会あいさつ

講演タイトル・プログラム順は仮のものです。最終版はウェブサイトに掲示される講演要旨集をご確認ください。

\*\*\*\*\*

日本分類学会連合加盟学会の大会・シンポジウム情報

日本魚類学会

2022 年度日本魚類学会年会  
会期：2022 年 9 月 17 日 (土) ~20 日 (火)  
会場：大阪公立大学杉本キャンパス (大阪市住吉区)

日本古生物学会

2022 年日本古生物学会第 171 回例会  
会期：2022 年 2 月 4 日 (金) ~6 日 (日)  
会場：名古屋大学東山キャンパス (名古屋市中種区)

**日本植物分類学会**

日本植物分類学会第21回神奈川大会  
会期：2022年3月3日(木)～6日(日)  
会場：横須賀市文化会館(横須賀市深田台50)

**日本進化学会**

日本進化学会第24回沼津大会  
会期：2022年8月5日(金)～7日(日)  
会場：プラザヴェルデ(JR沼津駅北口)

**日本生物地理学会**

2022年度日本生物地理学会大会  
会期：2022年4月2日(土)～3日(日)  
会場：東京大学弥生講堂アネックス一条ホール  
東京大学農学部中島董一郎記念ホール  
備考：開催方法の変更の可能性あり

2003年12月21日  
日本分類学会連合  
代表：加藤雅啓

**日本ダニ学会**

第31回日本ダニ学会大会(2022年度大会)  
開催の基本方針：  
① 基本的には現地開催を目指す。  
② 会場は京都市またはその周辺、会期は9月下旬の土日予定する。  
③ 三密を避ける対策を行う。広い会場(定員180名程度)、着席場所の指定、消毒用アルコールの設置などの対策をとることとする。  
④ 現地開催の場合、懇親会は実施しない。  
⑤ シンポジウムも実施しない。  
⑥ 判断時期は2022年4月中旬とする。評議員会で意見を請い、会誌1号の原稿に掲載する。  
⑦ 現地開催が難しいと判断された場合は、オンラインによる発表会に切り替える。

開してきましたが、このたび新たな事業として「メーリングリスト〈TAXA〉」を開設することになりました。このリストの趣旨は、本連合からの広報のほかに、登録会員が互いに分類学に関する情報交換や討論をするための場を提供することにあります。したがって、このリストは本連合の加盟学会の会員ばかりでなく、分類学に関心をもつすべての方に開放されます。なお、リストへの登録など管理、運営は本連合の担当者が行いますが、投稿は登録会員なら誰でも自由に行えます。多くの方が登録くださいますようご案内申し上げます。

〈TAXA〉は2003年12月13日に開設され、2003年12月24日午後5時に稼働開始しました。2021年11月30日の時点で981名の会員が登録されています。入会を希望される方は、  
1) メールアドレス  
2) 氏名(日本語表記ならびにローマ字表記)  
3) 所属  
を明記の上、〈TAXA〉日本分類学会事務局(office@ujssb.org)までご連絡ください。

メーリングリスト〈TAXA〉の投稿先アドレスはtaxa@ml.ujssb.orgです。

\*\*\*\*\*

[編集後記]

分類連合ニュースレターでは随時加盟学会員の皆様から広くご寄稿を募集しております。原稿は江口宛(antist@tmu.ac.jp)に電子メールでお送りください。皆様からの多数のご寄稿をお待ち申し上げます。(ニュースレター編集担当：江口克之)

\*\*\*\*\*

日本分類学会連合ニュースレター 第38号  
2021年12月10日発行  
発行者 日本分類学会連合  
事務局 〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1  
国立科学博物館・筑波研究施設内  
編集者 江口克之(首都大学東京大学院理工学研究科)  
\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

**TAXA —— 生物分類学メーリングリスト**

日本分類学会連合が運営するメーリングリスト〈TAXA〉は、生物分類学に関する情報交換や討論をするためのメーリングリストで、生物分類学に関心をもつすべての方に開放されています。〈TAXA〉メーリングリストは下記の趣旨により開設されました。

日本分類学会連合は、「生物の分類学全般にかかわる研究および教育を推進し、我が国におけるこの分野の普及と発展に寄与することを目的(規約第2条)」として、2002年1月12日に設立されました。現在、分類学に関係の深い27の学会が加盟しています。その後、本連合はこの目的に向かって様々な活動を展